

令和2(2020)年度 AIITシニアスタートアッププログラム 外部評価

NO	評価項目	評価(S、A、B、C)	意見	自己点検・評価
1	理念・目的	S	・本プログラムにより、シニア層の起業が促進される点、シニアのスキルを用いて社会貢献する点に意義がある。	S
2	教育課程	A	・体系的にマーケティングやビジネスアイデア発想を学んでいるが、最終的なビジネスプランに新規性や斬新さが不足しているため、そこを引き出せるようにしたほうがよい。 ・PBLでは、主張が強い人に引っ張られてしまう傾向があるため、各受講生が様々な意見を言えるような仕組みを構築するなど、工夫したほうがよい。	A
3	学生の受入	B	・難しいが、オンラインであっても、横の繋がりをしっかり持てるように工夫すると改善すると思う。	B
4	内部質保証	A	・完成したビジネスプランについて社会から評価を得られる仕組みにすると充実感や達成感が高まり、修了アンケートの「知人推薦度」が高まると思う。	A
5	中小企業活性化	A	・企業との繋がりを十分に持ち、様々な企業から刺激を受けられる体制があるとよい。 ・中小企業の現場の方との繋がりが増えるとよい。	A
6	地方活性化	A	・過年度のように八丈島や檜原村など比較的産業のない地域と比較し、区部ではビジネス関連の課題しか抽出できない。 ・早めにテーマを提示し、フィールドワークが実施できるようにするなど、工夫するとよい。	A

《評価基準》スタートアップを目指すシニア層に対するプログラムとして適切であるか。

S: スタートアップを目指すシニア層に対するプログラムとして極めて適切であり、卓越している。

A: スタートアップを目指すシニア層に対するプログラムとして適切である。

B: スタートアップを目指すシニア層に対するプログラムとして概ね適切であるが一部軽度な課題があり、更なる努力が求められる。

C: スタートアップを目指すシニア層に対するプログラムとして重大な課題があり、抜本的な改善が求められる。